

荒神谷遺跡出土 銅鐸・銅矛 複製

島根県立古代出雲歴史博物館、
斐川町教育委員会

国宝

考古資料・複製



島根県の松江市に何度も足を運び、
県立博物館で延々と作業を続けたこ
とを思い出します。特に冬の山陰は
どんよりと曇った日が多く、冷たい風
に凍えそうな寒々しい風景を思い起
こします。でも、宍道湖のしじみ汁は
美味しかった。

特に銅剣は材質のせいか、非常に強
度が弱くなっているの、ひときわ
慎重に取り扱う必要がありました。

型取り時には十分表現しきれない、
表面の製作痕などの繊細な形に注
意して製作しました。

荒神谷の遺物を見ると、夕暮れ時の
宍道湖の風景が懐かしく思い出さ
れます。

荒神谷遺跡は昭和 58 年 (1983 年) 広域農道 (出雲ロマン街道) 建設に
伴う遺跡分布調査で、調査員が田んぼのあぜ道で一片の土器 (古墳時代
の須恵器) を拾ったことがきっかけとなり発見されました。遺跡の南側
に『三宝荒神』が祭られていることから荒神谷遺跡と命名され、翌 59
年谷あいの斜面を発掘調査したところ、358 本の銅剣 (どうけん) が出
土しました。

銅剣 358 本のすぐ近くに埋められていた銅鐸 6 個と銅矛 16 本の組み合
わせは、これまでに例のないものでした。銅鐸は国内最古型式のものが
含まれ、銅矛には北部九州で出土する銅矛にみられる綾杉状の文様があ
るなど、荒神谷青銅器の発見は、弥生時代についての興味と関心を大い
に深めるきっかけとなりました。この銅鐸、銅矛のすべての複製を行っ
ています。

最近に加茂岩倉銅鐸の発見で少し霞んだ感もありますが、荒神谷遺跡でこ
れらの遺物が発見された当時はこの話題でもちきりでした。銅剣が 358 本、
銅矛 16 本、銅鐸 6 個と出土点数が多いことは、いまだに誰にとっても驚
きではないでしょうか。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510
fax 075-605-2519
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp